

た人々を追い詰めてい ねたドライ 死に納得できず、 が万引きをするわけがない」と娘の 車にひかれて死亡してしまいます。 運悪く疾走してきたト の現場を若い店長に見つかり、 -させ、 しかし、 店を逃げ出しましたが、 女子中学生 など、 疑念をエスカレ の店長や、 事故に関わ 一の父親は きます ラックと乗用 娘をは

きしようとした女子 のスー の化粧品売り場で万引 中学生。 ちょうど 思わ

肉親

関係者はどう

向

きあうの

化にちょ 詰めら 松坂桃李の演技も見ものです。 詰め方が鬼気迫ります。 田新太の殺気立った関係者 終盤に見せる父親の れる側のスー っと驚きも 心と態度の

りになってきます。 に関わった人間の心の葛藤も浮き彫 う向きあい、 肉親の尋常でない死に、 立ち向 かうの 家族はど か。「死」

事故死した娘の父親役の 

中国春秋戦国時代の思想家。「非攻」(ひこう)という平和主義を説きました。大意は「人を 殺せば不義(正義に反する)になる。戦争で大いに不義をして他国を攻めれば正義と誉め る。正義に反することを知らない」という感じです。今年死去された作家の半藤一利さんは、 「墨子を読みなさい…あの時代に戦争をしてはいけないと言ってるんだよ。偉いだろう」と 亡くなる前に妻に語ったそうです。



守口市ホームページより

これは守口

大根を酒粕で漬け込んだ

生産者と漬物業者との

6

れて

いるので、

(奈良漬に近

いもの)

です。な

として知られる守口漬があります

主な利用方法として、

名古屋名物

どで販売されていますが、

大量生産 百貨店な

放映されています。

できないので価格は少し高めです。

畝を準備す を準備するのが大変で時間すぐ下に伸びるようにする 愛知県や で岐阜県で守口大座はできません。

漬物

のほかきんぴら等に

ごぼうに似た食感

かり

長くまっ 世界一長い希少の品種とされていま 守口大根は栽培が難し 全長150センチほどと極細で 口大根の特徴は、 直径3セン いうえに、

> いました。 止となりました。 しています。 毎年1月にコンクトロ市は無料で守口大畑 昨年はコ 「伝統」 コロナのため中コロナ根の種を配 本家本元の

大根

長くまっすぐ

超極細 世界一 わが町 自慢紹介 長 14

# 守口大根 守口市

うちの近所

下に伸びる極細大根

# を守って Culture Navi +35+-+:V





うずら入り中華丼 (アレルギー除去食)

交野市職労 国武 裕次さん

協力:現業評議会・給食部会

# アレルギーのある児童生徒 にはうずら卵を加えずに

き揚げ

や

炊き込みご飯、

きんぴら

「ごぼう」

に似て

いるとのこと。

か

**婦人部のみなさんが守** 

一大根を使

主に漬物にされてい

たレシピを考えています。

食感は

が美味しいそうです。

毎年、

収穫時にはNHKの取材が



材料(4人分)

■豚バラ肉80g、うずら卵水煮80g、ちくわ40g、チンゲンサイ60g、白 菜140g、たまねぎ100g、にんじん20g、つちしょうが2g、たけのこ 60g、チキンスープ4g、かき油3g、こしょう0.1g、淡口しょうゆ 4g、塩2g、菜種油1g、でんぷん4g(とろみ用)、水55g

- ①豚バラ肉は一口大に切り、ちくわは4ミリ幅の輪切りにする。
- ②チンゲンサイと白菜は12ミリ幅に切り、たまねぎは6ミリ幅の薄切りに
- ③にんじんは4ミリ幅のいちょう切りに、たけのこは4ミリ幅に切り、つ ちしょうがはみじん切りにする。
- ④菜種油を熱し、つちしょうが・豚肉を炒める。たまねぎ・にんじん・た けのこを加え、さらに炒める。
- ⑤水を入れ、ちくわ・白菜を加えて炒め煮る。
- ⑥調味料で味をつけ、うずら卵水煮を加え、炒め煮る。
- ⑦チンゲンサイを加え、火を通し、水で溶いたでんぷんを加え、とろみを つけて仕上げる。

監督と脚本は吉田恵

などを手

がけ

河村光庸が

学校の担任や父親

大いなる不義を犯して 人の国を攻めば 非とされず名誉とし、正義とす それが不義なることを知らず

墨子(BC470頃~BC390頃)

記念日

日本茶の日 10月31日

1191年10月31日に、臨済宗の開祖・栄西が中国から茶の種子を持ち帰りました。その日にちなみ、10月31日を「日 本茶の日」と呼んでいます。栄西が持ち帰った茶種は、佐賀県と福岡県の県境にある脊振山(せふりさん)に蒔か れ、日本で茶の栽培が始まりました。栄西は茶種とともに、その淹れ方を持ち帰り、このお茶の淹れ方が現在の碾茶 (抹茶) の原型となっています。お茶自体は、それ以前から身分が高い人たちの間で伝わっていましたが、栄西が改 めて新しいお茶やノウハウを持ち帰ってから嗜好品となり、庶民の間でもお茶が親しまれ、発展していきました。栄 西は、栽培や効用等お茶に関する日本最古の書「喫茶養生記」も書き、お茶の歴史の大切な文献となっています。